

“地域建設業の大きな役割”

2015.9 栃木・茨城を襲った豪雨被害の復旧作業



国道121号（日光市藤原町イの原）



栃木県建設業協会は、県民の安全・安心な暮らしを守るため、日々、活動しています。



建設工事のご相談は、お近くの建設業協会各支部にお気軽に問い合わせください。

一般社団法人 **栃木県建設業協会**

〒321-0933 栃木県宇都宮市築瀬町1958-1

TEL.028-639-2611(代) FAX.028-639-2985 URL <http://www.tochiken.or.jp/>

■宇都宮支部／TEL.028-636-5221
■鹿沼支部／TEL.0289-65-2020
■日光支部／TEL.0288-54-0140
■芳賀支部／TEL.0285-82-2051
■下都賀支部／TEL.0282-24-5420

■塩谷支部／TEL.0287-43-0142
■那須支部／TEL.0287-22-2124
■烏山支部／TEL.0287-82-3161
■安蘇支部／TEL.0283-24-3838
■足利支部／TEL.0284-71-0044



この情報紙は栃木県建設業協会がお届けしています

とちぎを楽しもう

ぶらっと

Bratto

FREE
フリーペーパー^{vol.08}
ご自由に
お持ちください

特集 『未来見据え「夢」を築こう』

(一社) 栃木県建設業協会・座談会

●「建設業界の担い手を応援」喜びと達成感

■輝く女性たち
「女性ならではのきめ細やかな配慮」

■本当は教えたたくない
女性にも人気のグルメスポット



vol.
08
Oct
2015

◆発行／一般社団法人栃木県建設業協会 会長 渡邊勇雄

<http://www.tochiken.or.jp/>

◆発行人／広報委員長 生駒憲一

◆編集・デザイン／藤崎印刷㈱

未来見据え「夢」を築こう



(一社) 栃木県建設業協会
広報委員会
いこま けんいち
委員長 生駒 憲一氏



(一社) 栃木県建設業協会
広報委員会
しよしだ わたる
副委員長 吉田 宣氏



(一社) 栃木県建設業協会
広報委員会
あらゐ かく
副委員長 荒井 學氏

(一社) 栃木県建設業協会・座談会

少子高齢化の進展や団塊世代の大量退職などに伴い、国内の建設業界は若い世代の担い手の確保・育成が喫緊の課題となっています。今後、2020年の東京五輪・パラリンピック、県内では2巡目の開催となる2022年の国民体育大会などを控え、さらに人材不足の増大が懸念されています。一般社

団法人栃木県建設業協会(渡邊勇雄会長・会員320社)では、業界の若い担い手を応援するとともに今後も若い世代が建設業界に入職することを願い、さまざまな事業を展開しています。今回は広報委員会3役と、県内建設業の若手技術者が集い、県内建設業の現状や、今後の課題を議論しつつ、未来への展望などについて語っていただきました。

(企画・制作 下野新聞社営業局)



T社 (入社6年)
すずき えいいち
鈴木 瑛一氏



K社 (入社5年)
かみながりょうた
神長 亮汰氏



S社 (入社3年)
まつもと しゅうへい
松本 周平氏



U社 (入社4年)
のぐちりょううち
野口 凌一氏

建設業界の担い手を応援

他業種にない喜びと達成感

■若手の減少・構造的な課題

—建設業界は、担い手の確保と育成が課題となっています。県内も同様と思いますが、最初に委員長から業界の現状についてお聞かせください。

生駒 建設業は私たちが暮らしていく上で不可欠な道路などの社会資本整備をはじめ、豊かな暮らしを未来につなぐためのインフラの維持管理等を担い、その使命はますます増大しています。しかし、業界では技術者の高齢化や若手の減少といった構造的な問題が生じています。このような中、昨年6月に「品確法」「入契法」「建設業法」のいわゆる「担い手3法」が改正されました。工事の適正な施工と品質の確保、担い手確保が主な目的ですが、受注者としての責務を果たすことが肝要です。2022年には、県内で2度目の開催となる国体を控え、業種によっては人材不足が懸念されており「担い手3法」による経営環境の改善を期待しています。

■スケールの大きな仕事がやりがい

—お集まりいただいた4人の若手技術者には、現在の業務内容、仕事のやりがいなどについて伺います。

鈴木 現在土木関係の現場で現場代理人を担当しています。私の父も建設業に従事していて、子供のころからその姿を見きましたが、自分も現場に入って驚いたのは細かい仕事が多いことです。穴を掘削するにも施工計画書や図面を描くなど想像以上でした。また高校時代のインターンシップで、現場作業は学校での実習とは大違いで、作業

のスピードなどには感心させられました。入社6年で、さまざまな現場の竣工に携わりましたが、「終わった」という瞬間が私のやりがいです。まだ小さい我が子にも、後々「ここはお父さんがつくった所だよ」という話もできたらいいなと思っています。

神長 木造住宅メーカーで設計を担当しています。わが社では間取りだけでなく構造関係も自社設計し、内装・電気配線なども含め、さまざまな専門知識が求められます。また確認申請の業務や書類作成、「省エネ住宅ポイント」などの証明書の発行業務と、毎日パソコンとにらめっこ日々が続きます。現場で思うのは、やはり若手や同僚不足です。自分の父と変わらない年代の方が多く、同年代が少ないように思います。これは若い世代の建築に対する興味が薄れていることが原因の一つだと思います。仕事のやりがいですが、私は次の世代、また次の世代へと、ずっと残るものを作るとても大きな仕事に携わっていると考えています。将来にわたり自慢できるような建物を造るなど、少しでも建築に興味を持ってくれる方が増えればいいなと思います。



インターンシップ風景



インターンシップ風景

野口 鈴木さん同様、現場管理・監督を担当しています。昼は現場、夜は翌日の段取りや書類の作成に追われる日々です。これまで橋梁耐震工事、盛り土工事など、かなり多様な内容を経験しましたが「どれも一筋縄ではいかない」という印象が残っています。高校時代インターンシップで国道408号の橋梁現場に行きました。その時は、どんな形になるのか見当も付ませんでしたが、完成した橋を下から見て規模の大きさに驚いた経験があります。「大変な仕事だけど、それだけやりがいも大きい」と思い、現場の仕事に就こうと決め今日に至っています。

松本 私も現場管理・監督です。実際の現場が図面通り進んでいるか確認を行うのですが、少しでもミスを少なくするよう努力しています。インターンシップでは、安全な作業に配慮した現場へと改善する措置を体験させてもらいました。実際、ゼネコンに入社し、今もその記憶が現場で役立っていると思います。どんな現場も図面通りに作業すればよいと思っていましたが、図面通りには収まらないこともあります。今後も経験を積んでレベルアップし

ていかねばと思っています。ゼロから築きあげ徐々に高まる達成感。それが醍醐味です。

■建設は知的産業 自信と誇りを

—広報委員会の皆さん、若手のお話を受けていかがでしょうか。

吉田 皆さんの中には、そろそろ「独り立ちしろ」などと言われた人もいるのではないでしょうか。その際には必ず資格の取得が求められます。建設業は何をやるにも資格が必要です。だから私たちの仕事は誰にでもできる仕事ではないのです。その誇りと自信を持ってください。建設業は「知的産業」であり素晴らしい産業だと思いませんか。その気概を持ってこれからの業界を支えていってほしいと思います。さらに何気なく利用しているインフラは、私たち業者、発注者、その地域住民の皆さんとのつながりの上に成り立っています。決して個人の力だけでは、なしえないものです。ここには、他産業では味わえない感動があるはずです。

荒井 我々経営者は、若手が欲しいし、社員の定着率もアップしたいと思っています。戦争を体験した世代が、知らない世代に体験を語り継ぐのと同様に、建設会社でも熟練職がいるうちに、若手に現場の経験と技を伝えていかねばなりません。そこで今日は、「どうすればもっと若い人たちが建設業界に入るか」、「どうしたら辞めずに業界に定着するか」さらに「今いる会社に求める事は何か」と一緒に考えたいと思います。





インターンシップ風景

松本 私はやはり給料など待遇面が課題だと思います。他の建設会社の友人とも話すのですが、「ちょっと給料がなあ」といった話になってしまいます。

神長 建設業って何でもかんでも資格を求める過ぎなのではないでしょうか。どんなに夢を抱いていても資格、資格で「勉強が難しそう」とか不安になり断念してしまう人もいると思います。業界自らが若手を遠ざけているのかもしれません。

鈴木 最近入社した後輩の話では、社会に出ると学生生活とは違い、コミュニケーションなど人間関係が難しいと言っていました。

生駒 社会人になると自ら解決しなければならない問題が多々あります。コミュニケーションが大切かと思いますが、私や私より上の年代では、どうしても「今の若い者は」と言ってしまいます。若い人たちの考えを理解しようとせずに、その一言で片付けてしまいがちです。反省しなければなりませんね。先日、某工業高校の技術発表会を見てきましたが、今の高校生はすばらしいと思いました。最新の機械やコンピューターを駆使し、研究発表に臨んでいました。そうした新人が入社した際には、正しく評価し、能力を発揮できる環境を作り、若者のやりがいにもつなげていくべきだと思います。

吉田 「建設業は昔からこんな感じだよ」などと、現状に甘えていたなら、この先一層若い方の参入はないでしょう。神長さんの「やりがいだけでは乗り切れない」という一言は大変心に響きました。そのやりがいだけをもつて、踏ん張っている皆さんのためにも環境改善していかねばと思います。

荒井 今の世の中は、即戦力を求めがちです。我々、中小建設業においても、一昔前は時間をかけ、もう少し緩やかに教えていたように思います。今は限られた人員しか雇えない状況の中で、先輩たちも即戦力を求めるあま

り、皆さんにプレッシャーを掛けてしまっていることが多いあるかと思います。我々が改善しなければならないところですね。時代は繰り返されるものです。良き時代が再び来ることを信じています。若い皆さんの方を借り、そのような時代を築き上げていきたいですね。

■語り継がれる仕事残そう

——最後に、皆さんの後輩となるかもしれない、現役高校生さんにメッセージをお願いします。

鈴木 建設は幅広い分野の業界です。また、現場管理もあれば、技術屋、材料屋など、たくさんの人と関わる仕事です。ものづくりがしたくて大きな構造物に憧れる人は、ぜひ高い志を持って建設業を目指してください。

神長 本当にやれるかな、大丈夫かなという不安のある方もいるでしょうが、やる気があれば何とかなるものです。皆さんのやる気を建設業界にぶつけて欲しいです。

野口 実際、業界に入ってから苦労する面は多いと思いますが、苦労した分だけ、楽しいことや達成感も返ってきます。国のために、地域のためにという思いで従事すれば、辛さも楽しさに変わってくるでしょう。

松本 確かに大変な面はありますが、建築は自分一人じゃないし、必ず周りがフォローしてくれるはず。周りを信じ、自分を信じて一步踏み込んでみてください。

生駒 若者には「失敗を恐れるな」と言いたいです。どんどんチャレンジしてください。現場でも、事務所でも相互に理解し合える人間関係を築いてください。そうして自分たちの経験談が後輩に語り継がれていくことが大切かと思います。

地球をキャンバスに、自分たちの描いた「作品」が後世まで語り継がれるような夢のある仕事をして、共に達成感を味わいましょう。



栃木県建設業協会座談会に集まった広報委員会役員と、県内の若手技術者=栃木県建設産業会館

輝く女性たち

女性ならではのきめ細やかな配慮

渡辺建設株式会社
営業部 滝澤智恵子



平成元年に社会人となり、既に25年という長い年月を建設業に身を置いております。入社当初は建築の施工管理として配属され、いわゆる女性現場監督の走りでした。珍しがれ、からかわれ、楽しくもあり、毎日を目まぐるしく過ごしたことを記憶しております。

建設現場では一日一日が目新しいことばかりで、とにかく仕事を覚えることに必死でした。指示ミス、施工図の記入ミスによって生じる大きな損害、決断することの不安、それによってもたら



社内コンサート風景

される喪失感や達成感、とにかく毎日が真剣勝負でした。

現在は営業職として再雇用していただき、建設現場の後方支援もさせていただいております。業務の中には、私が若かりし頃に施工管理として携わった建物の修繕や解体などもあり、以前の苦労や工夫を思い返すことも度々。また、新築物件に設計から関わらせていただいたら、経験は宝であることを実感しております。

建設業全般、いまだ男性色の強い業種であり、建設業における女性の構成比率は15%と低く、背景には3Kといわれるイメージの悪さが大きく影響していると思われます。また、工事現場で働くイメージは力仕事。しかし現実は、書類や施工図の作成などのデスクワーク、現場内では品質管理、工程管理、安全管理等きめ細やかな配慮の必要な仕事が多く、女性ならでは…という視点が生きやすい職種だととも思います。

国が目指す〈女性が輝く社会〉。まだまだ課題は山積みで、現在社会の一端を担っているであろう私たちはその渦中にいます。

しかし、この現状に果敢に挑戦する女性が数多くいることも確かです。女性ならではのしなやかな強さで、後進の世代への道しるべとなるようまずは身近なところから努力したいと思っています。



平成5年8月28日付、週刊誌マロニエリビングに掲載されました。



地元に根付く栃建協

本当は教えたたくない女性

会員行きつけの

にも人気のグルメスポット



パティシエ カワナ

住 真岡市並木町3-6-10

TEL 0285-84-3305

営 10:00~19:00

休 月曜日



真岡市並木町にあるおしゃれなスイーツ店！『パティシエ カワナ』。お店の中はたくさんの美味しいケーキ、焼き菓子が綺麗にレイアウトされていて、女性にとっては至福のとき間違いなし。「お菓子を贈り物として使っていたらしく、贈る方は『もの』を贈るのではなく『気持ち』を贈っている」と考えるオーナーが、気持ちを伝える大事なメッセージになればと心を込めて作られたお菓子は、どれも格別！中でも“甲人くん家のはんなまちーず”は大人気。『縁・真心・結』を感じられる素敵なお菓子です！ 幸せな気分になります♪

各種ワイン
(375ml)
1,800円~

甲人くん家の
はんなまちーず
200円

本当は教えたたくない女性



アテウス株式会社

住 芳賀郡茂木町鮎田1854-1
TEL 0285-63-0140

営 10:00~17:00
休 月曜(祝日の場合は翌日)



おおしまさかなやさん

住 真岡市長田1317

TEL 0285-84-0015

営 11:00~14:00
17:00~22:00 (LO 21:00)

休 月曜日



国道408号線、真岡市長田に位置するこちらのお店『おおしまさかなやさん』。元々は『大島鮮魚店』という魚屋さんだったのです。おすすめは、刺身定食。お刺身は、新鮮で盛りつけのバランスも良かったです。ただに“さかなや”を名乗っていません。「刺身」も食べたいけど、ガツツリと肉系も食べたい…大丈夫です！そんなどきの注文は『Bセット』（刺身＆トンカツ）で決まり！トンカツも、柔らかくてサクサク。ボリュームも満点です。

どちらもお勧め。
ワインからデザートまで
ご堪能ください。



(株)阿久津土建
阿久津亮さん



各種ワイン
(120~180ml)
300円~600円



パスタや、こんがり焼き上げたピザ!
本場のイタリアンをぜひご賞味ください。



(株)福田土木
福田光浩さん



岩舟町の小さなケーキ屋さん
パティスリー ボヌール

住 栃木市岩舟町鷲巣360-4
TEL 0282-55-6004

営 9:00~19:00
休 火曜日



おすすめは、写真手前の右側の「岩シュー（税込 160 円）」。名前の由来はお店から眺められる岩船山だそうです。ゴツゴツとした岩肌をイメージした表面は、クリークでクランチのようになっていて、サクサクとした食感とたっぷり詰まった甘さ控えめのクリームが最高♪皆様も「岩シュー」をGETしてください！

洋食厨房 PAPRIKA パブリカ

住 栃木市大平町大字西野田174-1
TEL 0282-43-5227
営 11:30~15:00
17:00~22:00
休 月曜日

本場のパスタの味を召し上がり！

パスタが美味しい、いつも行きます。特にペスカトーレはお気に入りで、魚介が本当に美味しいです。本当にオススメですよ。セットにするとガーリックトーストやサラダ・デザートまでついて大満足です。ペスカトーレ 1,030円。

特製モッツアレラトマトクリーム
スパゲッティ 1,350円

信州のそばより
日光のそばでしょ!!
品質の高さと味はもちろん、
値段にも驚くこと間違いない。



そば処 しろやま

住 日光市板橋310-1
TEL 0288-26-0511

営 11:00~14:00
休 第2・第4水曜日



例幣使街道の上板橋交差点から、大沢インター方面に約1kmの左側に、お店があります。こちらでは、地元今市の小倉産そば粉を100%使用しています。地産地消にこだわった安心・安全のそば店です。心を込めて打ったそばは、細めながら程よいコシがあり、のど越しが良いです。茹で上がったおそばを地下水でさらすため、冷たい食感です。



観世音そば 下の家

住 日光市岩崎1032-5
TEL 0288-27-3000
営 11:00~15:00
休 火曜日



子授けの神様「鶴の子觀音」で知られている岩崎觀世音の下に、お店があります。こちらは、自分で種をまき、育て、刈り取り、製粉し、そばを打ち、提供するといった全ての工程をこなす、安心・安全のそば店です。夏には「夏そば」、秋には「秋そば」と1年で2度の新そばが食べられます。地産地消で生産者の顔が見え、安心できる自慢のもりそば 600円。

